



会場いっぱいにバリトンの音色が響く

オペラに酔うひととき 崔宗宝リサイタル

中国・北京出身で、現在は神奈川県に住み、中国と日本をまたに掛け活躍しているオペラ歌手・崔宗宝^{さいそうほう}さんを迎えたリサイタル（同実行委員会主催、本田加津美^{かづみ}実行委員長）が9月3日、文化交流センタースバルで開かれました。約300の観客が張りのある伸びやかな歌声に酔いしれました。

リサイタルでは、「千の風になって」「万里の長城」など、日中両国の歌を披露。また町内のコーラスグループ「うちこ町並みエコー」の皆さんも共演し、「荒城の月」などを一緒に歌いました。

思いやりの輪を広げて チャリティーふれあいコンサート

小田川フォーク村（櫻田高幾^{たかいく}代表）の呼びかけによる24時間テレビ協賛「第2回チャリティーふれあいコンサート」が8月29日、内子町共生館で開かれました。音楽バンドや伊予万歳、ストリートダンスなど、町内外から12団体が協力出演し、熱のこもった演技を披露して来場者を楽しませました。

集まった約3万6千円の募金はすべて24時間テレビに寄付され、海外援助や福祉の向上のために使われるということです。



ロックバンド「シャルマントビルト」の演奏



収穫の喜びに作業もはかどる

秋の実りに感謝を込めて 泉谷棚田オーナー稲刈り

棚田百選にも選ばれた泉谷地区の棚田で9月12日、オーナー制度による稲刈りが行われました。

同地区では、泉谷地区棚田を守る会（上岡満榮^{みつえ}会長）が中心となり、16年度から棚田オーナー制度に取り組んでいます。当日は12組が参加。地元の人たちの指導を受けながら一株ずつ手作業で稲を刈り取り、稲木に掛ける作業を行いました。

毎年参加しているという親子は、「子どもが年々上手になっている。食べ物を作ることの大変さと楽しさを感じてほしい」と語っていました。

友達と協力して合宿生活 大瀬っ子のひとりできるもん

子どもたちが学校に通いながら合宿生活を送る通学合宿「大瀬っ子のひとりできるもん」（大瀬エコセミナー実行委員会主催、中岡一^{はじめ}実行委員長）が9月1～4日に行われ、大瀬小学校の5・6年生児童10人が参加しました。

合宿中は、子どもたちが当番制で食事の買い出しや準備、洗濯、掃除などを担当。協力することの大切さを学ぶとともに自立心を養いました。また、座禅やドラム缶風呂、石窯でのピザ焼き体験など、さまざまな活動を楽しみました。



今回初めて行われた「肝試し」



商いと暮らし博物館で案内のポイントを学ぶ

内子町の案内はお任せ 商工会女性部 ガイド研修

内子町商工会女性部（西岡千代子^{ちよこ}部長）は9月13日、久保正憲^{まさのり}町並みガイドの会会長を講師に迎え、ガイド研修を行いました。

この研修は、同月24日に内子座で開かれ、約100人が参加した「愛媛県商工会女性部南予ブロック合同研修会」にあわせ、「自分たちで町を案内できるようになろう」と企画されました。西岡部長は「商工会でガイドに取り組むのは初めて。将来は五十崎・小田地区も案内できるように継続していきたい」と話していました。

おいしいブドウをどうぞ 内子ライオンズクラブ奉仕活動

内子ライオンズクラブ（武智浩^{ひろし}会長）は9月2日、特別養護老人ホームみどり苑に入所している皆さんを、「ふじブドウ園」（藤瀨利通^{としみち}社長）のブドウ狩りに招待しました。

同クラブでは、地域奉仕活動の一環として、毎年この取り組みを続けています。

参加者は、会員たちに手伝ってもらいながらブドウを摘み取り、早速氷水で冷やして試食。「青空の下で、風に吹かれながら食べるブドウはとてもおいしい」と、うれしそうに話していました。



みんなで味わうブドウの味は格別